

すくすく園では、お子様が病気の回復期にお預かりしています。普段は元気いっぱいの子ども達も疲労で体調を崩すこともあります。ご家庭でもかかりやすい病気についての症状と正しい対応を知っていればあわてずに済みます。鳥取県中部感染症流行情報を参考にいただき、手洗い、消毒、うがい、マスク着用を徹底しながら病気に負けないように体調管理を心がけていきましょう。

## 鳥取県中部感染症流行情報

疾 病 名	第1週	第2週	第3週	第4週
インフルエンザ	×	×	×	×
感染性胃腸炎	△	△	△	○
水痘（水ぼうそう）	×	×	×	×
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	×	×	×	×
手足口病	×	×	×	×
ヘルパンギーナ	×	△	×	×
咽頭結膜熱	×	×	×	○
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	×	×	×	×
流行性角結膜炎	×	×	×	×
マイコプラズマ肺炎	×	×	×	×
伝染性紅斑	×	×	×	×
RSウイルス感染症	○	×	×	×

★警報発令中

◎流行している

△散発

○やや流行している

×患者発生極少又はなし

## 今月の気になる病気

## 感染性胃腸炎

## どんな症状？

感染性胃腸炎の症状は感染したウイルスや細菌によっても症状が異なりますが、主にみられるのは発熱、下痢、悪心、嘔吐、腹痛などです。最初に発熱が見られ、かぜかと思いつつ経過を見ていたら嘔吐、下痢など腹部症状が遅れて出現し、後々になって感染性胃腸炎であったことが分かるということもあります。

特に乳幼児に感染者が多く、1歳以下の乳児では症状の進行が非常に速いという特徴があります。どのくらいの症状がいつまで続くのかについては個人差がありますが、通常は3日以内に回復します。

## 予防・二次感染予防

感染性胃腸炎の最たる予防方法は手洗いです。石鹸で手を洗い、流水で30秒以上しっかりと洗い流しましょう。特に外出後や食事の前、食事の調理の前後にはしっかりと手を洗うことが必要です。

また、感染性胃腸炎の原因ウイルスは症状が回復したとしてもその後1週間程度、長ければ1ヶ月程度は便中にウイルスが含まれています。ですので、家庭内に感染性胃腸炎にかかった方がいらっしゃる場合にはその方の便に含まれるウイルスで感染しないようにすることが必要です。トイレに窓がある場合にはトイレを換気しましょう。窓がないという場合には換気扇などを活用して換気をしましょう。

感染者の方との手洗い後のタオルの共有は避け、感染者の方は手洗い後はペーパータオルを使用するとよいでしょう。

